

【長田監査委員】

◎ 技術職員等の人材確保等に係る取組について

- 今年5月から監査委員を初めて務めさせていただきましたが、感じましたのは、監査事務局の皆さん、本当に細かなところまで、県の行政の隅々まで監査をして、こんな細かいところまできちっと指摘をされるんだと、マイレージを登録していただくということも含めて感じましたし、契約の問題、支払の問題などは毎年同じことなんですけれども、担当する職員が変わっていれば、その都度新しい認識を持たないという問題が起きるんだと。
- そのために、こうして毎年監査を行っていくということが大事なんだと改めて感じさせていただきました。
- そうした中で、議選の監査委員として行政を見させていただきましたが、つくづく感じましたのは、知事部局や警察、あるいはその他の部局も、人材の確保という点において非常に苦労されている、ということでありました。
- 知事部局の中でも、一般職をはじめ、特に技術系の職員の確保もそうでしょうし、福祉系もそうでしょうし、警察官の採用も随分と倍率が下がってきているというようなこともありました。
- そういう中で、県としても通年採用のような考え方であるとか、様々ご努力をいただいていることは大きなことと思っております。
- 思いましたのは、神奈川県で採用が決まったけれども辞退をして他へ行ってしまうというようなことで、神奈川県庁に受かったけれども横浜市役所だとかに行ってしまう、警察でも神奈川県警に受かったけれども警視庁へ行ってしまう、というような事例を考えたときに、一つ私が思うのは、やはり働く職場の環境というのは、若者の選択の中で大事なのかな、ということであります。
- 特に、横浜市役所がこれだけきれいになっている中、神奈川県と横浜市の両方に受かった、どちらを選ぶか、というときにですね、これは一つ大きなことかなと思います。

- 一方、神奈川県はこれまで財政的なこともあって、庁舎であるとか、とりわけ出先の土木事務所や保健福祉事務所を思い出しますが、老朽化する施設の中で職員が働いている様子であります。
- 職場の改善というものは自信を持ってやっていかないと有為な人材を確保できないのではないか、というようなことも感じたところでございます。
- 一部、トイレなどに手をつけていただいたようですけれども、建物全体も含めてより良い職場環境をお願いしたいと思います。

◎ 児童・生徒の生活習慣の改善に向けた口腔ケアの取組について

- もう一つは、子どもたちの健全な育成という観点で、生活習慣の改善という意味で、神奈川県も取り組んでおります口腔ケアということです。健康第一という中で、フッ素洗口を含めた子どもたちに対する口腔ケアの教育、実践ということはすごく大事であると思います。
- また、医師会からですね、デンタルネグレクトということについて、口腔検査の中で、家庭の中でしっかりとした教育がされていないんじゃないかということを指摘されております。
- フッ素洗口に関しては、全国の都道府県の中で、神奈川県を含めて2県だけが現場で行われていないということでもあります。
- 教員たちの働く職場の抵抗も大きいようではありますが、モデル校の選定等を行っているようですので、子どもたちの健全な育成という観点から、さらに充実をお願いしたいと思います。
- 私からは以上です。

【黒岩知事】

◎ 技術職員等の人材確保等に係る取組について

- 長田委員から、「技術職員等の人材確保等に係る取組」についてのご意見をいただきました。
- 県では、土木職を始めとする技術職員等の人材確保に向けて、採用方法の見直しや職場の魅力を発信するなど、様々な取組を行っております。
- 例えば、福祉職では、合格者を対象とした現場説明会や合格者面談を実施するなどの取組や、土木職についても、仕事のやりがいや魅力を紹介するイベントのほか、先輩職員等との交流会や、就業体験などの取組を行ってきました。
- また、専門人材の確保は、市町村においても重要な課題であると考えております。
- そこで、これまでの専門職派遣等の取組に加え、土木職の不足に係る課題を挙げる声が多かった県西地域で、市町と県の実務者会議を設置し、人材の確保や事務処理の見直しについて、現場感覚に根差した検討を行っていきます。
- 引き続き、こうした市町村連携の取組のほか、働きやすい職場づくりに積極的に取り組むなど人材確保に向けてしっかりと取り組んでまいります。